

第8回石巻市震災復興基本計画市民検討委員会議事録

1. 日時・会場

平成23年11月8日（火）16時～18時30分 石巻市役所 庁議室

2. 検討委員会委員

別紙名簿のとおり

① 委員長あいさつ

- ・ 8回目ということで深い議論を重ね、今回は最終となる訳ですが、既にお手元に計画書が配られています。
- ・ これが最後ではなく、スタートになります。スタートラインのこの計画がふさわしいものか、皆さんに議論をいただきます。
- ・ 事務局からベースをかいつまんて説明いただき、その後、ディスカッションしていきたいと思います。

② 資料説明

「石巻市震災復興基本計画（素案）」に基づいて復興対策室次長より説明がありました。

③ 要旨

（委員）

- ・ 今回、素案が示されましたが、これが本計画になるということですか。

（復興対策室次長）

- ・ この計画素案でパブリック・コメント、住民説明会等を実施し、本計画とします。

（委員長）

- ・ 施策大綱1、主に避難の問題、コミュニティ、道路の問題などについて発言をお願いします。

（委員）

- ・ P-16 基本理念1 「災害に強いまちづくり」の言葉ですが、「強い」というと対決型になりますので、力をしなやかにかわすようなトーンにしていきたいと思います。また、私たちは、水産に限らず大型の初期投資を行う場合は復旧・復興を一緒に考えていますので、国・県に対してそういった態度を示していきたいと思います。

（小野田委員長）

- ・ 復旧と復興を一緒に実施していくような表現があれば説明をお願いします。

（復興対策室長）

- ・ 災害に強いまちづくりの部分ですが、表現は減災などしなやかな対応を含めて記載しています。日本語で表現するとこのような表現となります。

(浅野副委員長)

- P-19 設計津波の選定の図に「宮城県沖地震」とありますが、また、宮城県沖地震が起きるのですか。
- P-30 防災対策の中に「防災の日」を設定してはどうでしょうか。「3月11日を防災の日」にしてまち全体で、みんなで逃げる訓練を毎年継続することにしてはどうかという提案です。

(復興対策室長)

- P-19 設計津波の選定の想定宮城県沖地震のデータは宮城県から提供されたものです。県でこのような想定しているということです。

(小野田委員長)

- 数十年後にこの程度の地震が起きる可能性がありますという意味だと思います。

(総務部長)

- 防災の日のご提案について、計画に記述はないですが、全国的に大きな震災があった日に防災訓練を行っていますので、庁内で検討します。

(委員)

- 実際は一部の方しか防災訓練に参加していません。復興モデル都市というタイトルを掲げていますので、市の条例に入れるくらいの感じで市民全体に義務付けるくらいでなければ風化してしまいます。

(小野田委員長)

- 教育、福祉など横の連携が必要となると思います。防災計画は避難計画と土地利用計画の両方から考える必要があります。今回は、土地利用が予算の関係で先行していますが、防災部分にも配慮していただき、建設部が先導して欲しいと思います。

(委員)

- 防災拠点の設置にしても、市域は面積が広いです。商店街なりに落とし込んでいけるような仕組みが必要です。細かいところまで落とし込んでいかないと防災無線が住民に伝わらない現象があるので小さいところまで落としていただきたいです。
- 避難路ですが、海から山に直接つながる道路では、津波の勢いが増しますので、その辺りも考えていただきたいと思います。

(総務部長)

- 防災無線の設定について、デジタル化を含め今回の検証の中で、範囲が広すぎるとか、大きな商店の中では無線の放送が聞こえないとかについては新たな構築の中で考えようとしていますし、マストの範囲が広くて届きにくいところは範囲を狭くするとか、航空機騒音の中で防音の建物が多いのであれば個別受信機とか防災ラジオなどの組合せを考え、きめ細かに対応しようと検討しています。

(小野田委員長)

- 施策大綱2を議論したいと思います。

(浅野副委員長)

- P-58 災害公営住宅ですが、全壊家屋が約2万戸、半壊を加えると2万5千の住宅が壊れ住めない状態です。個人的に復旧できる人もいるでしょうが、災害公営住宅が3千戸では少ないと思います。備考に「計画戸数は随時見直し」となっていますが、市民が計画を見たときに災害公営住宅をこれだけつくってくれるのだなと期待を持てる数にして、頑張っ国から予算を取る方がよいのではないかと思います。
- 蛇田に2千戸を確保するとなると街づくりが二極化します。全体的にばらついた住宅計画をお願いします。回答は結構です、私からの提案です。

(建設部長)

- 蛇田地区の2千戸というのは、宅地開発をということですので、災害公営住宅とは切り離して考えてください。
- 3千戸は査定された数であり、一定の基準に基づいて算出したものです。市民の皆さんと意見交換しながら正確な数を出していきます。

(小野田委員長)

- これからどこに、何戸という話になります。お年寄りが住むことが多くなると思いますので、難しい舵取りになると思います。建設部が他部局と連携して進めていただきたいです。

(委員)

- p-58 災害公営住宅に「300戸は高齢者に配慮した」とありますが、障害者に配慮するといった記載がありません。仮設住宅でも苦慮しましたので、文言をしっかりと記載いただき、対応をお願いします。
- 記述について「障害」と「障がい」が混在しているので統一した方がわかりやすいと思います。

(委員)

- P-63 「災害廃棄物の処理」ですが、施策体系に具体の文言が入って良いと思います。
- 災害廃棄物の処理ですが、自治体の責任の元に対処することとなりますが、膨大な量であり大手ゼネコンに処理が任せられました。お金が地元には落ちていません。業界にすぐにでも話があればここ数か月の間にかかなりの量が処理できたと思われます。今後、同様の事態となった場合は災害廃棄物の本部を立ち上げ、また、窓口を一本化いただきたいと思います。建設・運輸・廃棄物処理業界を一つのテーブルにのせて情報交換しながら迅速な処理計画を策定するのが良いのではないかと思います。
- 大量の廃棄物の堆積によって火災が発生しています。堆積しないように船で他地域の処理施設に搬出しても良かったのではないかと思います。許可が市町村ごとになりますので、今後のために連携できるようにしていただきたいと思います。
- 震災後、我々産業廃棄物処理施設（焼却炉、破碎施設等）における廃棄物の搬入は激減しております。全て仮置き場に搬入されているためです。本来、産業廃棄物である家屋の解体ごみが一般廃棄物扱いとされていますが、いつまでこの扱いが続くのでしょうか。このままでは市内の廃棄物処理業者の経営は厳しくなります。

(生活環境部長)

- 業界の力をいただき進めてきましたが、至らない点は反省すべきと考えています。膨大な廃棄物の量ですので、県に業務を委託したところです。仮置き場も確保はしていますが、膨大な量であり、苦しい状況です。県の二次処理が開始されれば、搬出を始めます。国・県とも3年で処理を終わらせることとなっていますので、現行の解体家屋の取扱いは3年となると思います。

(小野田委員長)

- P-63 「災害廃棄物の処理」は、適切処理とリサイクルに分けるべきかと思います。

(委員)

- 「住まいの再建」は、骨子から素案になった際にトーンダウンした感があります。骨子ではステージごとに支援と記載されていました。私は自主自立と記載いただきたいと訴えてきましたが、全流失した市民の立場から、多くの市民が基本計画に期待しているのは、各ステージごとの支援が大きいと思います。ステージごとに支援があるという安心感が必要です。ステージもいろいろな手段があります。仮設住宅に入った人などがどのような考え、状況にあるのか、市民が一番望んでいるものに即した指針を打ち出す、アンケートの実施などをお願いします。

(小野田委員長)

- 実際に建設部、復興対策室で業務は行っていますが、基本計画となると記載が難しくなります。ステージの記載がなくなっていますので、検討をお願いします。

(復興対策室長)

- どうしても計画は縦割りの組織で記載していますので、書き方を検討します。

(市長)

- 生活を早く取り戻したいと考えております。新都市計画で蛇田地域に50haから80haの住宅地を造成し2千戸、鹿妻には20haから30haで5百戸の住宅地を考えています。このほか、復興住宅を3千戸、各総合支所地域などに持っていき、全壊戸数の約半分を確保する考えでおります。造成などに時間がかかりますので、意向を把握しながら早急に対応していきます。

(小野田委員長)

- コンパクトシティを目指すとか、中心市街地を大事にしていくこともあるので、急いで蛇田などにたくさんの住宅を貼り付けると中心市街地は厳しいことになってしまうし、南浜の皆さんもできるだけ近くにとという方もいると思いますので、コンパクトシティの考え方と早期に戸建て住宅をインターの近くに建てることをうまくバランスを取ってニーズをくみ取っていただければと思います。

(委員)

- 自立する人への支援という発言が以前ありましたが、財力のある方の自立をさせていく支援策が必要です。支援策が市営住宅とか復興住宅とかの整備になっていますが、個人に対する支援をし自立していただいたほうが行政に迷惑をかけないと思います。そういった支援があれば、地域の2割は自立再建ができると思います。

(小野田委員長)

- ・ 全国的に大きな課題になっています。

(市長)

- ・ 今の状況を見ていますと、土地が値上がりしています。適正な規模の住宅地の提供が必要だとの思いから、住宅地を整備します。非可住地の土地については買い上げる、そういった施策を進めていきたいと思っています。

(委員)

- ・ 自立となると生活支援金だけでなく、税制面や融資の金利がどうなるかということをも素案に記載して欲しいと思い質問しました。

(小野田委員長)

- ・ 国の施策になるものもありますので、なかなか自治体での対応が難しい部分もありますが、自治体でできることは書ききっていると思います。施策大綱3「自然への畏敬の念を持ち、自然と共に生きる」、港湾、漁港関係について意見がありますか。

(委員)

- ・ 魚市場の整備スケジュールが入っていますが、これ以上遅れないように対応願います。基盤整備と建物は密接な関係にあります。現状の記載は我々の要望よりも1年遅れましたので、それ以上は遅れないようにしてください。
- ・ P-97 防潮堤ですが、高くして欲しいという考えではありませんが、遡上痕を考えますとこの高さで良いのでしょうか。高盛土道路が本当に必要なのか、津波に対する学問的に検証する場を作っていただきたいと思っています。我々が納得しないものでは一般市民は納得しないと思います。防災教育についても、心理学者等も含め検討する場を設けて欲しいと思っています。

(市長)

- ・ 頻繁に発生する津波、高潮に対応した高さです。余裕高を加えていますが、頻繁なものは第一線堤で抑えましょう、それを超える今回のような津波ですが、千年に一度なのでいらぬという考えの方もいます。しかし、行政として、背後にいる市民をしっかりと守る対策を取ることが必要です。しかし、これは完全ではありません、それでももれる分は逃げましょうという考えです。市民の生命をしっかりと守るという考えから高盛土道路は必要です。

(浅野副委員長)

- ・ 高盛土道路ですが、費用対効果を考えると防潮堤をもう一本作ってはどうか。高ければ良いと訳でもなく、田老町のケースもあります。
- ・ P-118 河川堤防縦断河川堤防は河口からだんだん低くなっていく記載がありますが、私としてはできるだけ低くして欲しいと思います。

(小野田委員長)

- ・ 東北大学の防災科学研究所として知識などを共有できるよう動いてみます。また、堤防については、どの地区がどうなるというものが示されてきますので、今後、議論がなされるものと思います。

(委員)

- ・ 地域医療に関してですが、市立病院再建の具体的なスケジュールの記載が欠けています。基本設計等で3から5年はかかります。用地の選定から始まり、医師の確保も必要です。医療機関のほとんどが復旧しています。いつ頃、具体的に病院が使えるようになるのでしょうか。救急対応は日赤しかない状況ですので、よろしくお願いします。

(病院局事務部長)

- ・ 今年度中に再建の基本計画を策定したいと思います。地域医療再生基金を使って再建しますので、その条件でもある平成25年度着工、平成27年度完成のスケジュールが想定されます。

(委員)

- ・ P-69 漁港及び魚市場の復旧・復興の課題と方向性の課題と方向性の記載ですが、モニタリングと風評被害対策をしっかりと行ってください。安心安全の加工団地を再建するには大手の技術を活用して進めていくべきだと思います。
- ・ P-87 専修大学についての記述は同感です。震災を経験した石巻の大学に人の絆やリスクマネジメント、災害を考える学部・学科を新設すれば若い学生が石巻に入ってくるので「人間共生学部」の新設を強力に働きかけていただきたいと思います。

(委員)

- ・ P-68 工業港の活用ですが、不法係留していたボートやヨットが津波で流され、家を破壊しました。ヨットハーバーを整備いただきたいと思います。観光施設としての機能も有すると思います。
- ・ 観光の面から考えると、市内中心市街地の交差点に名前がついていないため、外部から来た人はわかりません。交差点名や道路名などの整備が必要と思います。
- ・ P-86 人材教育の部分ですが、生活再建の部分でお金の問題になってきますので、地震保険100%加入を目指す取組みがあっても良いと思います。リスク管理という意味から対応し、保険料に対する補助制度を創設した方が安く済むと思います。また、地震保険は火災保険の半額しか補償されませんので、全額補償されるようにすることも必要かもしれません。企業についてはBCP（事業継続計画）の中で啓蒙を図ることが必要と思います。

(小野田委員長)

- ・ マリーナ整備は計画に記載されています。保険制度に関してはそのとおりだと思います。

(復興対策室長)

- ・ 交差点の名称は検討させてください。

(委員)

- ・ 保育所の復旧・復興の部分では記載のとおりで良いと思いました。
- ・ 大学の人間共生学部と新設を目指している医学部にも期待したいと思いました。
- ・ 生活基盤の安定によって、文化施設の復旧なども計画的に進めていただきたいと思います。

(委員)

- 文化センターの毛利コレクションも一緒に考えていただきたいと思います。
- 市立高校の統合の記述がありますが、門脇小の問題について、石巻中と隣接の門脇中を統合しても良いのではないのでしょうか。どちらかを小学校にしてどちらかを中学校にする、もっといえば小中一貫教育も検討していいと思います。この計画では具体的に示されていないようですので教えていただきたいです。
- 阪神大震災時も発災から数年後に非行等が問題になりましたので、スクールカウンセラーだけでなく、教師の対応もお願いします。

(教育委員会事務局長)

- 門脇小の問題を一例に問題提起をいただきました。門脇中については学区外にありますし、学区の見直しということは再編を考える中では必ず問題として出てきます。現在、被災した小中学校の保護者から意見をいただいています。学区の問題は地域に根ざしたデリケートな問題ですので、今の段階で計画に明確に記載することは難しいと判断したところです。
- スクールカウンセラーにつきましては、心のケアという部分で応援をいただきながら増員等の対応を行っているところです。教職員の研修ももっともな意見ですので、取組んでいきたいと考えます。

(委員)

- 生活再建の支援等、事業再建が進んできています。就労支援事業を市で取組んでいますが、うまくこれをかみ合わせていけないのでしょうか。単に雇用保険を延長せず、就労支援の部分に費用を回していただければ経済が活性化すると思います。被災者に限定されている枠組みを拡大し、I、Uターン事業に拡大できるような期間限定の支援、住宅の斡旋等があれば良いと思います。

(産業部長)

- 雇用保険の延長は二段構えで出てきました。被災地復興には効果的ではないとの意見もあります。国策ですので、要望はできますが直接の施策の変更はできません。
- 震災対応事業は名称が変わります。石巻市内に限らず、仙台等にも拡大していますが、これを県外にも拡大できないか確認していきます。

(復興担当審議監)

- 事業主支援は大事な視点だと思います。今、国会で復興財源確保法が審議されています。その中には法人税の特別控除があり、雇用した法人が給与の一定割合を税額控除できる仕組みを入れてもらえることとなります。これは被災地全体で要望した中で実現したものです。大きな被害が生じた地域で雇用促進に寄与するとして指定を受けた法人が対象で、どういう法人が対象になるかまだわからないが、有利な形で事業者の皆さんをバックアップできるよう知恵を絞っていきますので支援をお願いします。

(小野田委員長)

- 第4章「地区別整備方針」についてポイントが網羅されているかどうか重点的に見てもらい意見をお願いします。

(委員)

- 市街地の西部、東部で示されている図面と各総合支所エリアの図に違いがあります。P-132は各地区ごとに高さが示されています。各総合支所エリアにも表記いただき、決意表明すべきではないでしょうか。

(建設部長)

- P-132には海岸堤防の高さが記載されていますので、この高さを地区ごとに記載したいと思います。

(小野田委員長)

- 市民と議論を重ねていくということが必要です。中心部については堤防高が密接である部分もありますが、半島部については、そこまでの整備が必要なのか議論の余地があるという考えもあります。そういった意味で記載していないものと思いました。

(委員)

- 県は整備するものだと言っています。経済性などを考えると記載しない考えもあるかもしれませんが、世界に名立たる復興都市として記載は必要と思います。

(小野田委員長)

- ちょうど、専門家が会場にいますので、発言をお願いします。

(東北大学平野准教授)

- 「安全性のために高い堤防整備を要望」する自治体と「観光が成り立たない」などいろいろな意見があります。国・県も想定される津波の高さに基づいて示したのですが、整備高はどうやってまちづくりをしていこうかという観点で議論が必要だと思います。

(小野田委員長)

- これから詰めていく調整の幅を残しておくことにして、引き続き検討ください。

(委員)

- 河南地区は大被害はありませんでしたが、多くの方が避難してきました。また、華南地区の駅前には地盤が弱いため2.5軒に1軒位の割合で全壊半壊被害が発生し解体ラッシュになっています。市民全部が被災者であるという意識の共有が必要だと思います。
- 湊等からの避難者が運ばれてきましたが行政のサポートがありませんでした。足の先、手の先まで行政のサポートが行き届くように対応をしてください。

(委員)

- 中央地区の図ですが、市街地再開発エリアはもっと広く取ってください。
- 堤防高は議論する余地を残しておいていただきたいと思います。
- 中心市街地のアクセス改善として内海橋の架け替えについてP-117のマップに書かれてますがこれに固定化しないで丁寧な議論をお願いしたいです。

(建設部長)

- 現在の復興推進地域のエリアを記載しています。再開発の動きがあれば拡大することも検討します。
- 内海橋についても住民と意見交換を十分行い進めなければいけない事業だと考えてい

ます。

(小野田委員長)

- ・ ここだけ再開発事業を行うと見えますので、記述の工夫をお願いします。

(委員)

- ・ P-113 牡鹿は観光の町として金華山とかホエールランドとかあるが、網地白浜海水浴場や十八成浜に海水浴場がありました。そのことで民宿も周辺に立地し生活できていました。砂浜・海水浴場がないと今後どのように生活設計を立てたらいいか、細かい部分の観光施設の点検が必要だと思いましたが見解を伺います。

(牡鹿総合支所長)

- ・ 十八成浜は重要な観光資源と地域の方から意見をいただいていますので、砂浜を残せるよう対応したいと思います。

(委員)

- ・ P-117 の復興イメージと P-101 の将来構想の中瀬に架かる橋に違いがあります。こういったことが不信感を抱かせます。説明をお願いします。

(建設部長)

- ・ 中瀬の南側の橋は歩行者用の橋をイメージしています。

(委員)

- ・ P-118 ページになだらかな堤防のイメージがあります。堤防は命を守るために必要だと思いますが、背後地との調和など、これで決まったのか、それとも協議できる余地があるのか確認させてください。

(建設部長)

- ・ ひとつのイメージですので、協議可能です。

(委員)

- ・ プロジェクトの推進にあたって、中心市街地の活性化を進めていただきたいと思います。市街地再開発事業ですが、民間と市が一緒になってやる、骨格となる災害に強い道路、片側 2 車線とするような取組みが必要です。市街地再開発事業となれば地権者の痛みも伴います。河川改修も含め、進めていかないと将来の石巻はないと思います。進捗状況を確認できる、総合調整する部署、国でも議論されていますが、石巻市でも同じです。専門の権限等を与えた部署をせめて復旧期の間は設置すべきと思います。

(建設部長)

- ・ 市街地再開発事業は決して行政が何もしないという訳ではありません。住んでいる方が一生懸命取り組んでいくものは市がバックアップしていきます。

(小野田委員長)

- ・ 各事業が走り出す、市民と一緒に参画してやっていくというスタンスが必要です。第 6 章に記載されていますが具体が見えませんが、復興に向けてのシステムのイメージがあればコメント願います。

(復興対策室長)

- ・ 計画の進捗管理、市民の意見を取り入れながらの部分でイメージは確定していません。市民の方を入れた組織も考えられますが、他の組織もありますので検討していきます。

(委員)

- ・ 街をすべて作り直すくらいの計画の記載ですが、P-126の人的支援の継続について、行政の方の派遣だけでうまく進むのでしょうか。各課題について担当が異なりますので、民間のファームを取り込めないかなど、そういった文言を入れていただきたいと思います。

(小野田委員長)

- ・ 外部からはなかなか見えませんが、庁内ではステアリングコミッティなど、横断的な調整も行われています。長丁場の会議となりましたが、これからはプロセスを見守っていただくこととなります。市長からコメントをいただき、副委員長のあいさつをお願いします。

③ 市長あいさつ

- ・ 8回の市民検討委員会に出席をいただき、ありがとうございます。具体的に復興を進めていくなかで検討などが必要となりますので、今後ご意見をお願いします。
- ・ 来週から説明会を行っていきますが、市民合意を得ながら進めていく必要があります。議論が必要ですので、今後ともよろしくをお願いします。

④ 要旨

- ・ 組織を設置した市関係者に感謝します。丁寧に会を進めた委員長にも感謝申し上げます。
- ・ まちなかを歩きますと、虫食い状態にあり、なんとしても再開発して、街を再生する必要があります。
- ・ 権利が錯綜している地域の土地区画整理事業等、行政も覚悟を決めて取り組んでいく必要があります。行政、議会、民間が一緒になって、議論して、子どもたちに批判されないまちづくりを進めていく必要があります。
- ・ 他地域に負けないまちづくりに尽力しましょう。どうもありがとうございました。